



## 高齢者の安否確認

# 音声合成で新システム

### 東洋システムとHOYAサービス

## 自治体向けに拡販

### 中堅・中小・ベンチャー

【立川】東洋システム(東京都立川市、飯田哲郎社長、042・522・1040)は、HOYAサービス(東京都新宿区、大原幸男社長、03・3232・7671)と音声合成を使った高齢者向け安否確認システムを共同開発し、自治体に提案を始めた。緊急性が高い状況を把握した際は、医療機関などへ通報が可能。独居世帯の増加を背景に、社会問題となっている高齢者の孤独死防止にも役立つ。

安否確認システムは、事前に登録した高齢者のいる世帯に音声合成サービスを使って自動的に電話をかけると、対象者が「元気です」、「調子が悪い」などのボタンを押して体調や状態を瞬時に

連絡できる仕組み。HOYAサービスが強みを持つ音声合成やコールセンターの技術と、東洋システムの顧客管理データベース(DB)のノウハウを連携して実現した。名前、性別、年齢、

介護度など登録したDB情報に応じて、きめ細かなサービスを提供できる

ほか、音声合成の活用により、電話応答にかかる人件費の削減にもつながる。

価格は顧客の要望に応じて個別に対応する。まず東京・多摩地区の市役所に提案し、初年度に5件の受注を目指す。「音声合成は各種支払いの督促に幅広く利用できる」(飯田社長)とみて、自治体に拡販する。